

年々夏の暑さが増し、ついに「災害級の暑さ」という言葉が生まれてしまいました…

熱中症や日焼け対策を万全にして

酷暑を乗り越えましょう！（な）



第5回 星なかま交流会 実施報告

大杉直樹
(星なかま☆ひめじ)

星なかま交流会参加者の集合写真。後方列の左から4人目が井上毅さん、5人目が菅野松男さん。



兵庫県姫路市を拠点として活動する天文同好会「星なかま☆ひめじ」と播磨地方の天文のベテラン陣が参加しての「第5回星なかま交流会」を、6月25日に姫路市宿泊型児童館 星の子館にて開催しました。

星なかま交流会は、第1回目は彗星写真でおなじみの津村光則先生、2回目は惑星写真の熊森照明先生、3回目は新天体発見三冠王の菅野松男さん、4回目は星の和名の北尾浩一先生に講師を務めていただきました。そして、今年はプラネタリウム100周年ということで、明石天文科学館館長の井上毅さんをお招きしての開催となりました。

今年は1923年ドイツ博物館で試験公開されたプラネタリウム1号機の登場から今年で100周年にあたるということで、プラネタリウムの変遷と現在の姿を井上さんのユーモア溢れる語り口調で、2時間にわたりご講演いただきました。さらに、プラネタリウムの大先輩である菅野さん、小川さん、小関さんを交えたお話はとても貴重な内容でした。

播磨に生まれ育った天文ファンにとっては、明石天文科学館のカルツァイス・イエナ製のプラネタリウム投影機越しに見る星空こそがプラネタリウムです。今回、井上さんから直接お話を聞け



明石天文科学館館長の井上毅さんの講演の様子。

る機会を得たことで、星なかまの輪がさらに広がった1日でした。

来年は、新天体発見三冠王である菅野さんの南小田観測所など、自作観測所の思い出をメインとした内容で、第6回星なかま交流会を開催することが決定しています。今から楽しみでなりません。

●交流会開催のレポートありがとうございました！ 今回のレポートからも楽しそうな雰囲気がしっかり伝わってきました。プラネタリウムの変遷のお話の内容がとても気になるところです。次回開催時のレポートも楽しみにお待ちしております！（な）